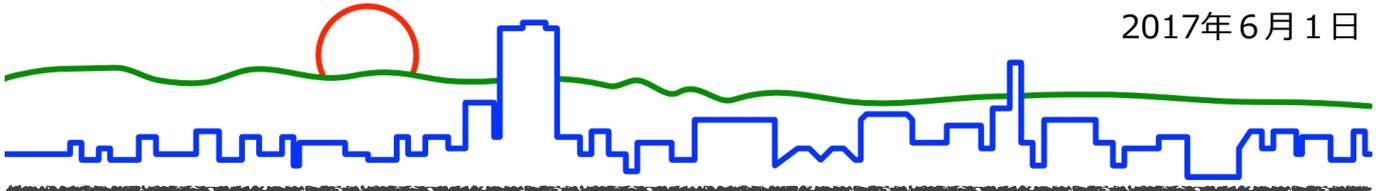


2017年6月1日



試験勉強と商品開発と私

はちおうじ総務相談所の長岡です。関東でもそろそろ梅雨入りしそうな今日この頃、みなさまいかがお過ごしでしょうか。

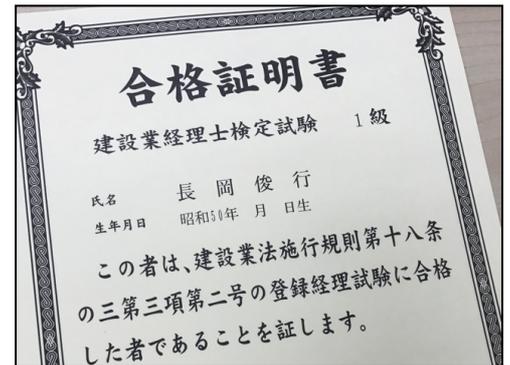
いきなりですが、5月の連休明けに建設業経理士検定の合格発表がありまして、ようやく1級に合格することができました。これで「1級建設業経理士」を名乗れます。国家資格ではないものの、社内に2級以上の人がいると公共工事の競争入札で有利になることもあって、建設業界では価値を認められている検定かと思われます。

実際のところ、建設会社の社員でもなければ、合格したからといって扱える仕事が増えるわけではないのですが、1級まで持っている行政書士はかなり少ないので、それなりのアピールにはなりそうです。また、一般的な簿記の分野についてもそこそこ勉強しましたので、中小企業支援の幅がさらに少し広がったのではないかと感じております。

行政書士の資格だけだったころは、建設業者との接点は、許認可と会社設立くらいのものでした。その後、認定支援機関となったことで財務面からの助言が、さらに社会保険労務士の登録もして、労働・社会保険に関するお手伝いもできるようになりました。そこに建設業会計の知識が加わったことによって、小規模事業の支援者として、もう一歩先に進めそうです。

また、資格試験や検定の勉強を通じて新しい知識を吸収し、それをきっかけに新たな視点や考え方を身につけていくことは、いわゆる「コンサルタント」としてだけでなく、個人事業主としての成長にもつながっているような気がします。

専門知識を売りにする我々にとって、新しい知識を得ることは仕入れや商品開発に当たる活動ですので、これからも積極的に動いていきたいところです。



誕生日を暗証番号にするのはやめましょう

今月の予定 (2017年6月)

1日 (木) 労働保険 年度更新手続開始 (7月10日まで)

* 健康保険・厚生年金の算定基礎届は、7月1日から10日の間に提出です。計画的にご準備を。

今月の推薦図書 vol.21

『会計天国』

青木寿幸・竹内謙礼 著 2009年 PHP研究所

読み進めていくうちに、決算書についていろいろと知ることのできる物語です。経営危機に陥っている会社の経営者などが、主人公から決算書の読み方を教わることによって業績を回復させていくお話が5パターンほど。講義を受ける人が都合良く反応しすぎな感じもしますが、そのへんはこの手の本の宿命かと。

知識がないころは数字の羅列にしか見えなかったものでも、ルールを学ぶことによって意味を読み取れるようになり、さらに学習を続けていくと、新たな視点や考え方が身についてくる……そう考えると、決算書を学ぶことは外国語を学ぶのと似ているような気がします。

物語自体はとんでもない展開なので、知識ゼロでもそこそこ楽しく読めるかもしれません。でも、ある程度の知識がないと、解説の部分を理解するのが大変なのではないでしょうか。

そのようなわけで、基本的な知識がある人には、決算書のより有効な活用法を学ぶ本として、また、知識がまったくない人や苦手意識のある人に対しては、決算書を活用することの重要性（活用しないことの危険性）を学ぶ本としてお薦めの一冊です。

今月の推薦映画 vol.21

『メッセージ』

ドゥニ・ヴィルヌーヴ 監督 2016年

ある日突然、地球に謎の巨大浮遊物が現れて、中にいる宇宙人は何か伝えたがっているようだが、残念ながら言葉がまったく通じない。そこで優秀な言語学者（主人公）を連れてきて、言語の解読と意思の疎通を試みるという、中盤まではわりとありそうなお話です。

しかし、言語の研究が進んでいくと、主人公が新しい思考法を身につけていくことになります。たしかに、我々は言葉を用いて物事を考える性質が強いので、言語が思考に影響を与えることもあるでしょう。外国語を勉強したときに感じた……ことがあるような気がします。

これが地球外生命体の言語ともなると、思考の飛躍も半端なものではないわけです。見方によってはかなりの「トンデモ科学」なのですが、それなりに筋は通っていて、なかなか楽しませてくれました。暴力的なシーンもないので、落ち着いたSFが好きな人にお薦めです。

経営者がビジネス書を読んで勉強するのは、大切なことだと思います。でも、普段は接する機会のない分野の本などにも触れることによって、思考の幅が広がっていくのかもしれない。そのようなわけで、これからも積極的に映画を見なければならぬなと感じました。

編集後記

今月のテーマは、「新しい知識を得ることが新しい視点や思考につながる」みたいな感じにしてみました。資格試験や検定をうまく活用すれば、短期集中で一定の知識を得ることのできるでしょう。ただ、知識を自分のものにして有効に使える道具とするためには、そこからさらに努力が必要なのかなと感じております。

ともあれ、6月は社労士にとって繁忙期。といっても、私はまだそれほど業務がないので、事務所関連で先送りにしていた仕事を進めなければなと思う今日この頃です。

はちおうじ総務相談所 事務所通信 第21号 (2017年6月1日発行)

発行責任者：長岡俊行（行政書士・社会保険労務士・経営革新等認定支援機関）

お問い合わせ先：042-636-4000 nagaoka@802soudan.jp